

朝特訓!

第24回早朝特訓9DAYS2017開催決定!

来る11月16日(木)以降、各中学校にて期末テストが行われます。そこで、前回に引き続き、このたび期末テスト対策の一環として、『第24回早朝特訓9DAYS(A.M.6:30-8:00)』を11月18日(土)より開催いたします(※詳細別紙)。

早朝特訓スタートから早4年半。ここで改めて本特訓の意義についてご説明します。よく質問されるのが、「朝9時から勉強するのはダメなのか」と。もちろん朝9時から勉強するのも全く問題はありません。きちんと計画を立て、決まった時間に勉強する習慣が身についているのならば、無理をして早朝から学習する必要はありません。「それでは何故早朝特訓なのか」と。私はこう思います。例えば、月例テストの偏差値はほとんど変わらず、毎日5時間同じように学習したとしても、全く違う結果がでることはままあります。これは能力の差ではなく、それに臨む姿勢(意識)の違いなんだと思います。「何がなんでも450点取る!」と思って、ちょっと無理をしても早朝から勉強しようとする生徒と、「400点ぐらい取れたらいいなあ」と思って漫然と学習している生徒とでは、学習の中身、その精度には歴然とした差が生まれます。

早朝特訓はそもそも希望制のイベントで、参加するかしないかは完全に生徒の意志に委ねています。したがって、「敢えて、朝早く起きてでも」という意志をもつ子どもたちは、勉強への向き合い方が極めて自発的で、意欲的です(→今回中間テストで学年順位がベスト10に入った生徒の内、半数以上が本特訓に参加しています)。理屈で考えれば、同じ5時間の学習でも、“気持ちの違い”によって、学習の定着度合いや、その成果に大きな違いが出るのはそのためです。

今、時代のキーワードは、「アクティブ・ラーニング」、つまり、**能動的、主体的な学習にこそ価値があり、それこそが、これから生きる子どもたちにとって、真の“生きる力”となります。**また、仲間とともに敢えて困難な場面を経験することによってこそ、**真の“人間関係(絆)”が生まれます。**もちろん我々指導する側にも覚悟が求められているわけで、つまり、“そこまでしてでも、そこまでしなければ結果は出ない”ということを経験することこそ価値があるんだと思います。このように、**本気になった子どもたちの希望や、将来の夢を叶えるための足がかりとなる場、それが“早朝特訓”であると私は考えています。**

終わりに、いつもお伝えしている“思い”を改めて申し上げます。～「目標達成のためには、学習時間の確保以上に、『何がなんでもそうになりたい』『最後まであきらめない』という“意志の強さ”が必要だということに生徒自身が気づき、今回の経験が今後の人生に生かされていくことを期待しています。特に、中3生にとって、**受験勉強の意義とは、『テストでいい点数を取る』『より偏差値の高い高校に受かる』ということだけではなく、子どもたちが自分自身と向き合い、自分の弱さを認め、それを克服していく過程の中で、“生きる力(=経験)”を体得するということではないでしょうか。**それは心の目でしか見えない、カタチのないものだからこそ、時を経ても色褪せず心の中で輝きつづけるんだと思います」

～これまでの総参加者数:「のべ7,166名(計168日間)」

スクール21さいたま本部教室

平山 和靖

速報!「2学期中間テスト結果速報」(※10/27時点での判明分)

【中3】●与野東中:477点[学年2位!]/477点[学年2位!]/474点[学年4位!]/471点[学年6位!]/470点[学年7位!]/●片柳中:468点[**学年1位!**]/447点[学年6位!]/●第二東中:477点[**学年1位!**]/●八王子中:470点[学年3位!]/●大原中:458点[学年6位!]/457点[学年7位!]/●大宮南中:465点[未判明]/461点[未判明]/●与野西中:456点[未判明]/【中2】●与野東中:481点[学年6位!]/476点[学年9位!]/●大宮南中:482点[**学年1位!**]/462点[学年7位!]/450点[学年10位!]/●与野西中:458点[学年5位!]/448点[学年10位!]/●八王子中:450点[学年9位!]/【中1】●与野東中:462点[学年4位!]/458点[学年7位!]/457点[学年9位!]/●八王子中:470点[**学年1位!**]/457点[学年6位!]/●大宮南中:449点[学年4位!]/424点[学年9位!]/●与野西中:452点[未判明]。他に、「400点超え達成者[139名(実数)]」「自己ベスト達成者」「10点以上アップ者」「各科90点超え者」多数!